

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教育方法論	講義	2 単位	園田 雪恵

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

これからの社会を担う子どもに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解することが、この授業のテーマである。授業の到達目標は、次の 3 点である。①教育方法の基礎的理論と実践をつなぐことができる。②主体的・対話的で深い学びの実現ができる教育方法を場面に応じて選択し、実践することができる。③保育評価の基本的な考え方を説明できる。

【授業の概要】

保育の基本と保育現場における遊びを中心とした保育指導法について学ぶ。子ども理解や環境構成の理解を深めながら保育方法及び保育技術(情報機器や教材の活用を含む)を習得する。指導計画立案から保育実践へ繋ぎ、保育の評価を保育改善にいかす方法を学ぶ。また、幼児教育から小学校教育へつなぐ方法を検討し、学びの連続性を意図した指導法を学ぶ。

【全体の授業計画・内容】

1. 幼児教育の改訂の背景について

事前学修課題:テキストの「保育の基本と保育方法」を読んでおく。【1 時間】

事後学修課題:資料とともに幼児教育の改訂の背景についてまとめる。【1 時間】

2. 今後の幼児教育の方向性について

事前学修課題:テキストの「幼児理解とその方法」を読んでおく。【1 時間】

事後学修課題:今後の幼児教育の方向性についてまとめる。【1 時間】

3. 遊びの理論

事前学修課題:テキストの「遊びの指導」を読んでおく。【1 時間】

事後学修課題:様々な遊びの指導法についてまとめる。【1 時間】

4. 実践事例検討(子どもの主体性を育む)

事前学修課題:テキストの「主体的・対話的で深い学びと教材研究」を読んでおく。【1 時間】

事後学修課題:子どもの主体性を育む指導法についてまとめる。【1 時間】

5. 実践事例検討(ICT を保育・教育実践に用いること)

事前学修課題:テキストの「学び合い育ち合うクラスづくり」を読んでおく。【1 時間】

事後学修課題:ICT を活用した保育についてまとめる。【1 時間】

6. 指導案の作成方法

事前学修課題:「指導案の作成方法の作成方法」の資料を読んでおく。【1 時間】

事後学修課題:授業で検討した指導案を完成させる。【1 時間】

7. 作成した指導案を実践にいかす方法

事前学修課題:テキストの「環境の構成と保育の展開」を読んでおく。【1 時間】

事後学修課題:作成した指導案を保育現場で実践するための準備をしておく。【1 時間】

8. 絵本を用いた保育の方法

事前学修課題:テキストの「児童文化財と保育」を読んでおく。【1 時間】

事後学修課題:発達段階に見合った絵本と読み聞かせの方法についてまとめる。【1 時間】

<p>9. 子どもに伝わる言葉がけの方法</p> <p>事前学修課題:テキストの「一人一人に応じた指導」を読んでおく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:事例における適切な子どもへの言葉がけについて検討し、まとめる。【1時間】</p>
<p>10. 実践にいかすための指導法のレポート作成</p> <p>事前学修課題:テキストの「園内外の環境を活かした保育」を読んでおく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:保育実践における環境構成についてまとめる。【1時間】</p>
<p>11. 食育を意識した指導法の検討—咀嚼の援助・箸の持ち方指導—</p> <p>事前学修課題:テキストの「豊かな体験と園行事」を読んでおく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:保育における食育計画についてまとめる。【1時間】</p>
<p>12. 道徳性の芽生えを育むための指導法の検討</p> <p>事前学修課題:テキストの「生活の指導」を読んでおく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:道徳性の芽生えを育むための指導法についてまとめる。【1時間】</p>
<p>13. 保育における評価方法の検討—幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿から—</p> <p>事前学修課題:テキストの「保育の質と評価」を読んでおく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:保育カリキュラムにおける保育の評価方法についてまとめる。【1時間】</p>
<p>14. 幼児教育から小学校教育へつなぐための指導法の検討</p> <p>事前学修課題:テキストの「小学校との連携」を読んでおく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:幼児教育と小学校教育の円滑な接続方法についてまとめる。【1時間】</p>
<p>15. 保育指導法のレポート作成</p> <p>事前学修課題:各授業内容の要点をまとめておく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:授業で学んだ保育指導法を振り返り、保育現場で活用できるようにまとめておく。【1時間】</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>ニュースや新聞などの子どもに関する記事に関心を示し、幅広く情報を得ておく。児童館や子育て支援サークルなどの保育ボランティアなどたくさんの経験を積極的に積む。様々な保育の方法についての知見を得て、実習等の保育現場で活用し、理論と実践の融合を図る。その上で、子ども自身が育っていくことに自分がどのように関わっていくことができるのか、子どもにとってよりよい保育とは何かについて普段から考えておくようにする。授業内容についての疑問点を整理し、必ずその時に解決する習慣を身につける。</p>
<p>【成績評価】</p> <p>平常試験(50%)、ワークおよび提出物(50%)により総合的に判断する。</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>授業で配布するコメントシートに授業に対する疑問点や質問を記入し、次回の授業にて解説することによりフィードバックを行う。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>神長美津子(編著)『保育方法論』光生館</p>
<p>【参考文献】</p> <p>文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館</p> <p>内閣府『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館</p> <p>厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館</p>
<p>【実務経験の有無】</p> <p>幼稚園における保育者としての経験をいかし、様々な保育の指導法を教示する。また、小学校教諭としての経験から、幼児教育と小学校教育の円滑な接続をするための指導法について授業を行う。</p>

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教育方法論	講義	2	宇賀神 一

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ:これからの社会を生きていく子どもたちに求められる資質や能力を育成するために必要な、教育の方法や技術、情報機器および教材の活用に関する基礎的な知識や技能を身につける。

到達目標:

- ①教育方法の基礎的な理論と実践について説明することができる。
- ②子どもたちに必要な資質や能力を育成するための教育方法のあり方＝「主体的・対話的で深い学び」について記述することができる。
- ③教育の目的に適した教育技術を工夫することができる。
- ④情報機器および教材の活用に関する基本的な知識・技能を説明することができる。

【授業の概要】

まず、教育方法・教育技術の前提としての「学習(学び)」に関する基本的な事項について学ぶ。つぎに、授業の構成要素や教育方法・技術に関する基礎的事項、教育評価の意義や技能について理解を深める。そして、これからの教育における新しい方法＝情報機器の活用などについて基礎的な知識や技能を身につける。

授業はレジュメを用いながら、各回のテーマを中心に講義を行うとともに、必要に応じて映像資料を用いる。なお、講義内容や進度は、受講生の理解度や授業態度・姿勢に応じ変更することがある。

【全体の授業計画・内容】

1. オリエンテーション

事前学修課題:シラバスの熟読のうえ、現時点での教育方法についての認識を整理する。【1時間】

事後学修課題:配布された資料を各自でまとめ、理解する。【1時間】

2. 学習とはなにか① —代表的な学習の考え方—

事前学修課題:ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心を持ち、教育方法の基礎的な理論と実践について情報を得る。【1時間】

事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

3. 学習とはなにか② —学習理論に基づく学習方法—

事前学修課題:ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心を持ち、教育方法の基礎的な理論と実践について情報を得る。【1時間】

事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

4. 学習とはなにか③ —学習における他者・集団—

事前学修課題:ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心を持ち、教育方法の基礎的な理論と実践について情報を得る。【1時間】

事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

5. 学力とはなにか① —学力の考え方—

事前学修課題:教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教育方法のあり方についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】
6. 学力とはなにか② —学力と人間性— 事前学修課題:教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教育方法のあり方についての理解を深める。【1時間】 事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】
7. 授業の創造① —授業の構成要素— 事前学修課題:教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教育方法のあり方についての理解を深める。【1時間】 事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】
8. 授業の創造② —教育方法・技術に関する基礎的・基本的な事項— 事前学修課題:教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教育方法のあり方についての理解を深める。【1時間】 事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】
9. 授業の創造③ —教材づくり・教材研究— 事前学修課題:教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教育方法のあり方についての理解を深める。【1時間】 事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】
10. 授業の創造④ —情報機器の活用および情報活用能力の育成— 事前学修課題:教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教育方法のあり方についての理解を深める。【1時間】 事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】
11. 教育評価とはなにか① —評価の種類と機能— 事前学修課題:児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、教育の目的に適した教育技術についての理解を深める。【1時間】 事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】
12. 教育評価とはなにか② —新しい評価の方法と実践記録— 事前学修課題:児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、教育の目的に適した教育技術についての理解を深める。【1時間】 事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】
13. 教科外教育活動の構想① —集団づくり・自治活動— 事前学修課題:児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、教育の目的に適した教育技術についての理解を深める。【1時間】 事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】
14. 教科外教育活動の構想② —人権学習・道徳教育— 事前学修課題:児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、情報機器および教材の活用に関する基本的な知識・技能についての理解を深める。【1時間】 事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】
15. 試験およびまとめ 事前学修課題:前回までの授業のレジュメをふりかえり、理解を深める。【1時間】 事後学修課題:まとめの内容をふりかえる。【1時間】
【学習のあり方】 教育者・保育者は子どもの育ちに責任があるということ、教育者・保育者である自身の行動が子どもに対して善

悪交々の多大なる影響を与えることを自覚すること。その上で、子どもが育っていくことに自分がどのように関わっていくことができるのかを想定しながら、授業やグループワークに参加してください。

すべてに出席するのが原則です。遅刻・欠席は「参加度合」として不適切と判断します。健康管理や早めの行動を心がけてください。疑問や質問は授業中でも授業後でも必ずそのときに解決する習慣をつけましょう。

【成績評価】

課題提出などを含む授業への参加態度(20%)、試験(80%)をもとに総合的に評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

【テキスト】

レジュメおよび資料を配布する。

【参考文献】

授業中に適宜指示する。

【実務経験の有無】